

## 私の好きなロシア語

国際コミュニケーション学部 1年  
古田 圭

こんにちは。国際コミュニケーション学部1年古田圭です。今日はボクが勉強しているロシア語について簡単に紹介しようと思います。早速ですが簡単に自己紹介をロシア語でします。

**Здравствуйте! Меня зовут КЭИ. Я люблю Россию! Очень приятно!**

(ズドラーストヴィチュェ！ ミニャー ザヴートケイ。 ヤー リュブリユー ラシーユ。 オーチン プリヤートナ！)

(こんにちは！私は圭と言います。私はロシアが大好き。どうぞよろしく。)

見慣れない文字がいきなり出てきて(°д°)ポカンってなった方も多いかもしれません。そもそも、なんだこの難しそうなのはと思った方も多いでしょう。でもこの(°д°)ポカンに使われているдこそロシア語に使われるキリル文字なのです。多くなるので小文字だけ書き出すと、а б в г д е ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ы ь э ю яの33文字です。どうです、かっこいい文字でしょ？ボクは最初このかっこいい文字に惹かれました。しかも少し勉強すれば(意味はわからなくても)読めると知り、ボクはよりロシア語に惹きこまれました。これらは文字は表音文字なので読むにあたって必要なちょっとしたルールを学習すれば簡単に読むことができるのです。

ロシア語の中には日本語のカタカナ語として使われているものもあります。イクラ(икра)、コンビナート(комбинат)、ノルマ(норма)、インテリ(интеллигенция)、アジ

ト(агитпункт)、ツンドラ(тундра)、タイガ(тайга)、セイウチ(сивуч)といった単語はすべてロシア語からきている単語です。ところでみなさん икра をイクラって読んでますよね？これはロシア語としては50点です、なぜならアクセントがないから。でも英語のように「イクラ」といったふうにアクセントのある母音を高くするわけではありません。ロシア語ではアクセントのある位置で音を伸ばします。イクラのアクセントはаの文字にありますから、「イクラー」と読むが正しいです。ちょっとずれますが、名古屋人が「エビフライ」を「エビフリヤー」という(これは俗説らしいが)のになんだか似ている気がします。ネイティブ発音を意識する方はお寿司屋さんでイクラ頼むときに、「イクラーください。」と試みては？

## 私と日本語

経営学部 2年 <sup>ケンケイカ</sup> 玄<sup>ヒメ</sup> 艺<sup>ヒメ</sup> 华

中国が北朝鮮と国境を接するところで生まれた私は朝鮮語を母語とする中国人です。生まれてすぐ母語を学び、小学校に入ると中国語を習い始めました。小4になった時英語の授業が取り入れられました。それから高校を卒業するまで、3つの言葉は私の生活に不可欠なものでした。しかし、どれをとっても得意とは言えませんでした。

その後、日本留学を決意し、毎日日本語の勉強に没頭しました。「あいうえお」からはじめ最初はひたすら単語を覚えました。次に文法を習い、簡単な文章を作るようになりました。その後は読解の練習、聴解の問題をやりました。日本語は朝鮮語と似たところが多くて、1年猛勉強の末、日本語能力試験2級を取りました。ここまでの勉強は昔の中国語や英語の勉強と同